

福井市自然史博物館分館基本計画（素案）の概要

○基本理念

奇跡の惑星『地球』を知ることは『福井』を見つめなおすことにつながる

ともに生きるために大切なことを探す

たゆまない探究で見えてくる宇宙の仕組みや、地球が生命を育む奇跡の惑星であることを、ともに学びあい、ふるさつを見つめなおし、すべての生命とともに生きるために大切なことを、一人ひとりが見つけだす『場』を提供します。

夢を育む人づくりでまちを創る

私たちを含むグローバルな世界と、私たちが暮らすまちがつながっていることを学び、21世紀の『福井』のまちづくりを目指し、都市のネットワーク拠点にある文化創造施設として、夢を育む人づくりに取り組みます。



自然史博物館の分館として、本館と役割分担しながら一体的な整備を行い、自然科学の各分野がつながる教育を進めます。

本館は全体を統括し、生物学・地学の分野を担当して、足羽山のビジターセンターとして活動します。分館は天文学を担当し、県都の玄関口のミュージアムとして活動します。

○目標

自然科学教育の推進

地球と太陽系、銀河系など、広大で謎に満ちた宇宙の魅力を、最新の探査や研究成果によって「身近に」「分かりやすく」「楽しく」学ぶ場を提供することで、子どもたちの夢を育む学習を推進し、全国トップクラスの教育をさらに向上させます。

宇宙開発や宇宙研究の情報を提供し、県内の教育機関や企業と連携して、地域の産業・技術を支える人材を育成します。

県都の玄関口のミュージアム

県内外の人々が交流する公共交通ネットワークの拠点に立地するメリットを最大限に活かします。

福井の魅力をドームシアターで創造・発信しながら、中心市街地の商業・宿泊施設と連携して、にぎわいの創出と、一乗谷朝倉氏遺跡や越前海岸、県立恐竜博物館などとの広域的な観光誘客を目指します。

○事業計画

展示事業

- ・天文を分かりやすく楽しく学習
- ・新しい発見と本物志向の展示
- ・最新の映像技術による参加型展示

ドームシアター事業

- ・番組の自主製作と生解説
- ・福井の情報を発信する拠点
- ・多様な自主事業や貸館事業の実施

教育普及事業

- ・小中学校の校外学習を推進
- ・出前天体観測会などを実施
- ・展示解説などのボランティアを養成

来館者サービス事業

- ・スタッフによる展示や番組の解説
- ・教材や玩具で遊べるキッズルーム
- ・天文に特化したミュージアムショップ

観光連携事業

- ・交通結節の立地を活かした広域観光
- ・県内観光拠点との連携
- ・再開発ビルや周辺施設との連携

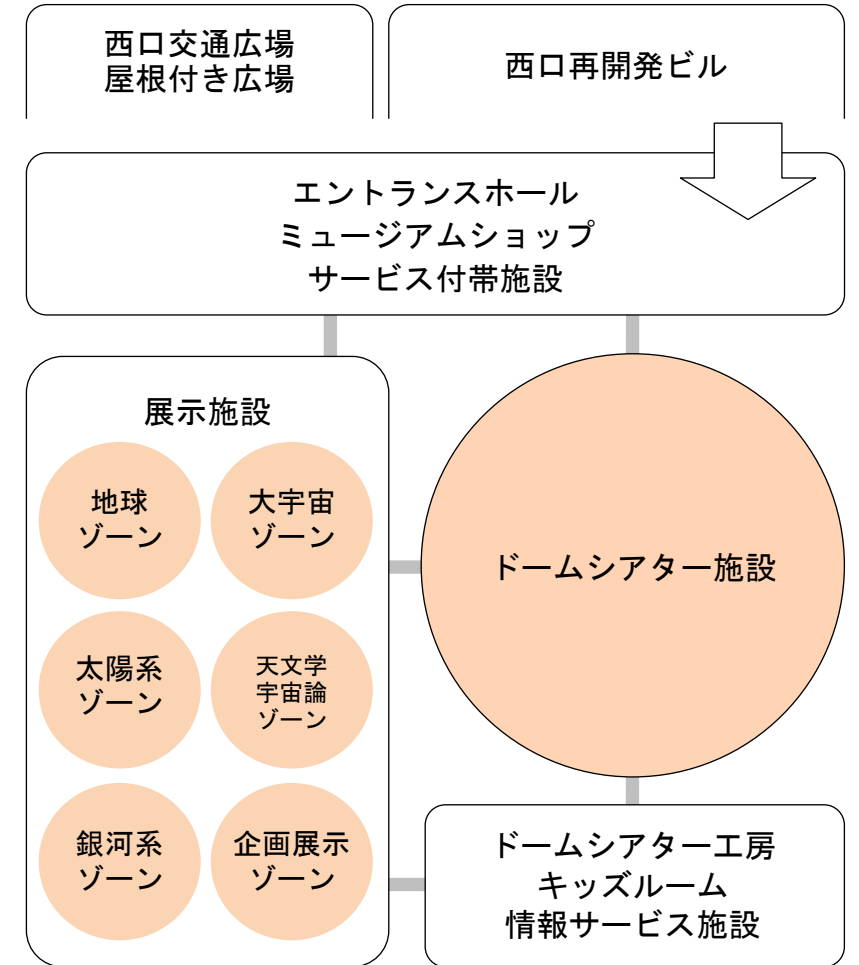
調査研究事業

- ・専門研究機関と積極的に連携
- ・常に最新の情報を収集
- ・企業や大学等の研究活動を支援

プロモーション事業

- ・ビジュアル・アイデンティティの構築
- ・ネーミングライツの導入を検討
- ・戦略的な広報プロモーション活動

○施設計画



○整備方針

博物館としての機能を果たし、来館者に快適で安全な施設・設備を提供し、天文を身近に分かりやすく楽しく学習できる環境をつくります。

高度情報化、来館者のニーズ等、将来の変化に柔軟に対応できる、更新性と拡張性を考慮した設備とします。

○管理運営計画

商業施設等との連携など、西口再開発ビルの立地を活かした活動を、民間のノウハウを活用して効果的に行うため指定管理者制度を導入します。

本館は、自然史博物館全体を統括する業務を行い、指定管理者は、分館の運営に関わる業務及び管理業務を行います。